

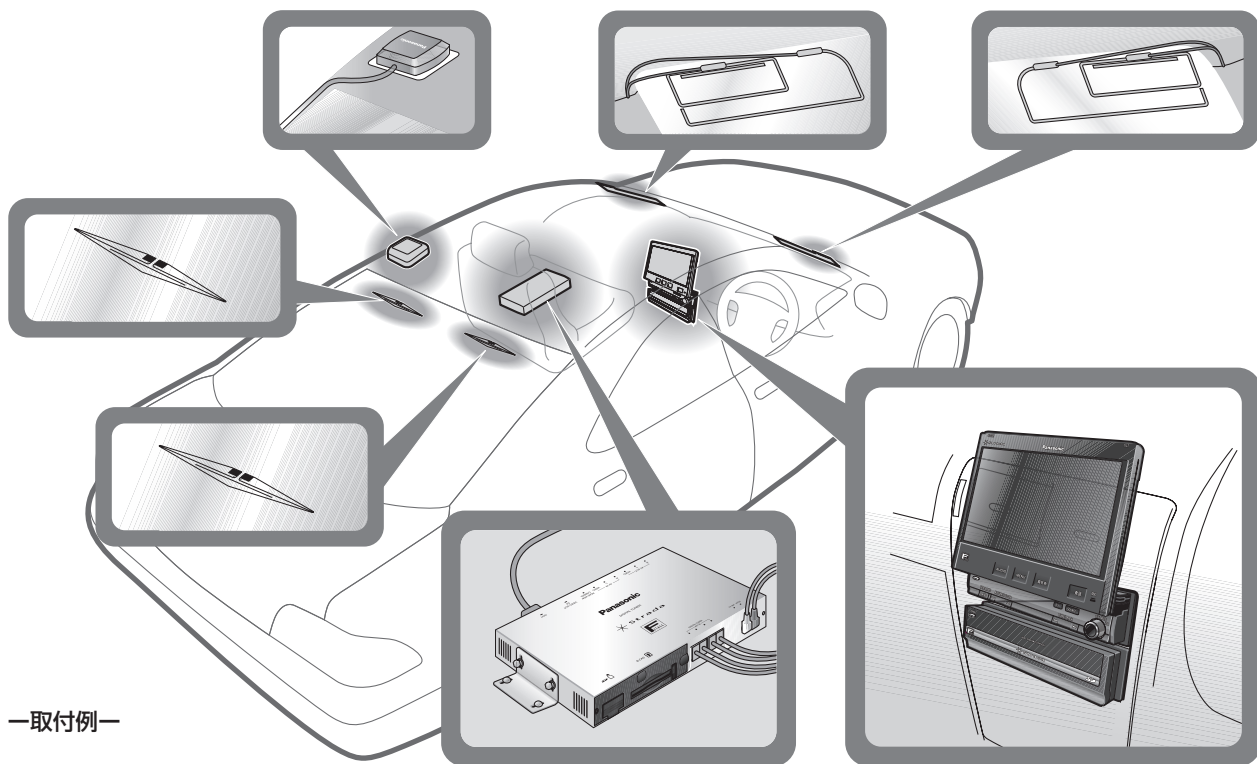


取付説明書

設置と接続

7V 型ワイドVGA インダッシュTV/MD AV システム
DVD/CD 内蔵 HDD カーナビステーション
車載用地上デジタルチューナーセット

品番 **CN-HDS965TD**



—取付例—

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書（ナビ編）の「安全上のご注意」（p.6～11 ページ）を必ずお読みください。

お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へ
ご返却ください。

この説明書は再生紙を
使用しています。



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品 名	数量
ナビゲーション本体関係		
①	ナビゲーション本体	1
②	ベース金具	2
③	L 型金具	2
④	サイドパネル左右	各1
⑤	粘着テープ (35 mm× 80 mm)	2
⑥	座付きねじ (M5 × 6 mm)	2
⑦	座付きタッピンねじ (φ6 × 20 mm)	4
⑧	座付き六角ナット (M5)	4
⑨	皿ねじ (M5 × 6 mm)	4
⑩	スペーサー / 両面テープ	各2
GPS アンテナ関係		
⑪	GPS アンテナ (コード 6m)	1
⑫	防水ゴム (GPS アンテナコード用)	1
⑬	金属シート (車内取付用)	1
⑭	保護シート (車外取付用)	1
⑮	コードクランパー	5
リモコン関係*		
⑯	リモコン	1
⑰	単 3 形乾電池	2
⑱	リモコンホルダー	1
⑲	両面テープ (20 mm× 50 mm)	1
モニター関係		
⑳	インダッシュモニター	1
㉑	座付きねじ (M5 × 6 mm)	2
㉒	皿ねじ (M5 × 6 mm)	4
㉓	座付きねじ (M4 × 3 mm)	4
㉔	スペーサー / 両面テープ	各2
地上デジタルチューナー関係		
㉕	地上デジタルチューナー	1
㉖	L 型金具	2
㉗	座付きタッピンねじ (φ5 × 16 mm)	4
㉘	座付きねじ (M5 × 6 mm)	4
㉙	マジックテープ	2
㉚	地上デジタルチューナー 接続ケーブル (3 m)	1

番号	品 名	数量
コード / ケーブル関係		
㉛	電源コード (ナビゲーション本体用)	1
㉜	車速信号中継コード (桃色 : 1.5 m)	1
㉝	電源コード (インダッシュモニター用)	1
㉞	RGB ケーブル (45 cm)	1
㉟	音声コード (45 cm)	1
㊱	圧着式コネクター	4
TV・FM 多重アンテナ関係		
㊲	TV・FM 多重・地上デジタル アンテナ左右	各1
㊳	TV・FM 多重アンテナコード左右 (7 m)	各1
㊴	地上デジタル アンテナコード左右 (7 m)	各1
㊵	アーステープ	2
㊶	コードクランパー	10
地上デジタルアンテナ関係		
㊷	リヤ用地上デジタルアンテナ左右	各1
㊸	リヤ用地上デジタル アンテナコード左右 (7 m)	各1
㊹	コードクランパー	6

※リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書 (ナビ編) をご覧ください。

主な添付品

品 名	数量
基本操作ガイド	1
取扱説明書 ナビゲーション操作編	1
取扱説明書 地上デジタルチューナー操作編	1
取付説明書	1
はじめて使うときの準備	1
取付ゲージ	1
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ	1
B-CAS カード (ユーザー登録ハガキ付)	1

その他の付属品

品 名	数量
クリーニングクロス (液晶ディスプレイ用)	1
クリーナー (TV・FM 多重・地上デジタルアンテナ用)	1
クリーナー (リヤ用地上デジタルアンテナ用)	1

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。
(※裏面)
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。
(※裏面)

作業の順序

- ① バッテリーの ⊖ 端子をはずす。
- ② 配線する。
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- ③ 取り付ける。
- ④ バッテリーの ⊖ 端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

松下電器産業株式会社

パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 番地

お客様ご相談センター ● 電話 ☎ 0120-50-8729

フリーダイヤル 受付 9:00 ~ 17:00/365 日

● 一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHS など)

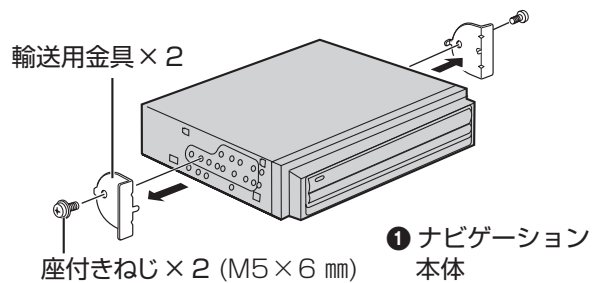
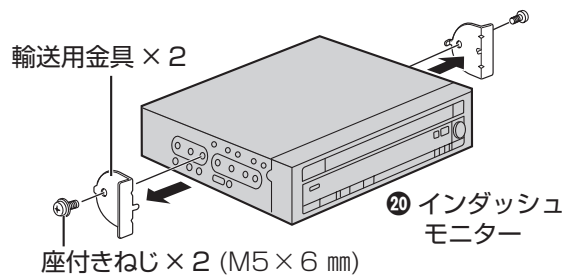
● FAX 045-938-1573

一般電話・FAX 受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

※一般電話、および FAX をご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

ナビゲーション本体・インダッシュモニターの取り付けかた

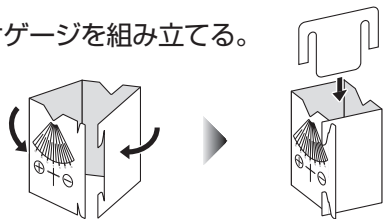
準備 ●ナビゲーション本体・インダッシュモニターともに、輸送用金具をはずしてください。



取りはずした座付きねじ（各2本）は、ナビゲーション本体およびインダッシュモニターの取り付けに使用場合があります。

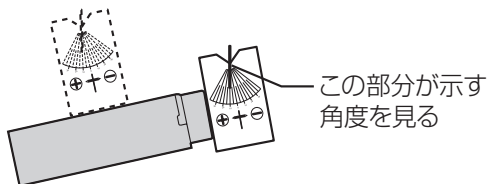
取付角度を測る

① 取付ゲージを組み立てる。



② 車体が水平になる場所で、ナビゲーション本体に取付ゲージを下図のようにあて、本体の取付角度を測る。

●床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーション本体の上に置いて、角度を測ってください。

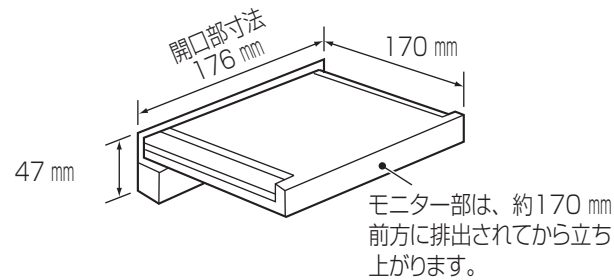


③ 取付角度を設定する。（裏面『取り付け・配線の確認』）

お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。
- ナビゲーション本体を取りはずし、再度取り付けの際にも取付角度の設定は必要となります。取付ゲージは大切に保管してください。

取り付け部の寸法・角度の確認



オーディオスペースがDIN サイズまたは2DIN サイズでない場合は、販売店にご相談ください。
DIN サイズ （横 180 mm × 縦 50 mm）
2DIN サイズ （横 180 mm × 縦 100 mm）

使用する取り付け金具（ブラケット）は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

- トヨタ車（DIN サイズ採用車）
純正カーオーディオを固定していたブラケットをご使用ください。
- 日産・本田・マツダ車（DIN サイズ採用車）
別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。
- 上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

お願い

- 水平に対して、30° 以下の角度で取り付けてください。取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。30° を超える場合は、床やトランクなどに取り付けてください。
- アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けしないでください。画像が乱れる原因になります。
- エアバッグや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーをはずすと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。

お知らせ

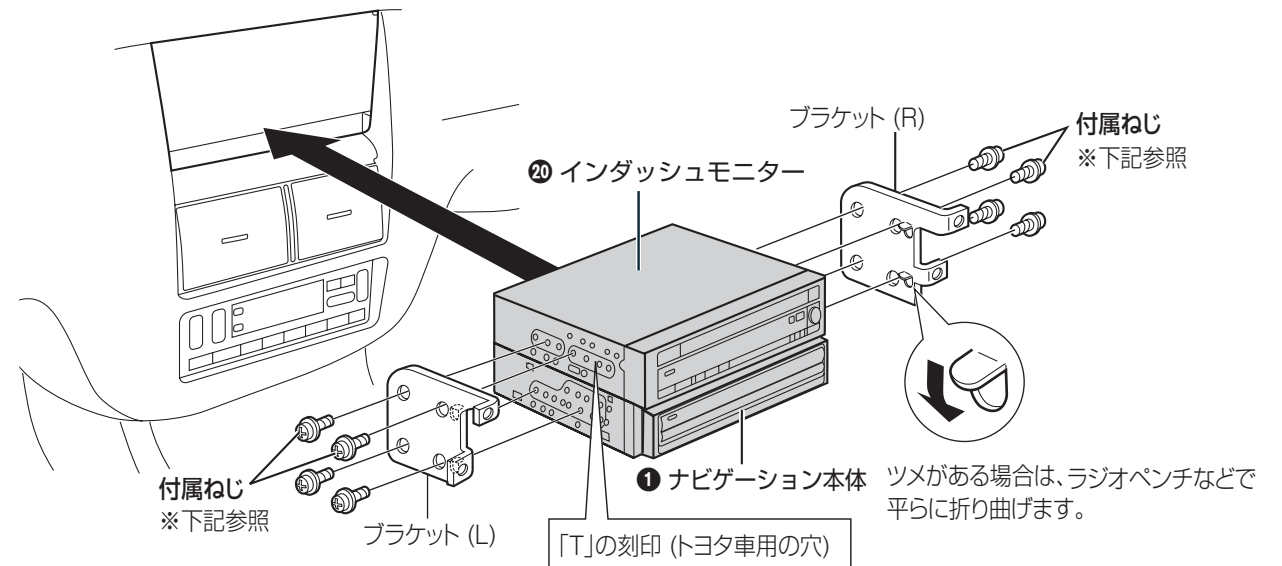
- 年式、車種、グレードにより、専用キット（別売）が必要な場合があります。
- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード（別売）があります。
- センターコンソールの形状や寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

取り付けかた

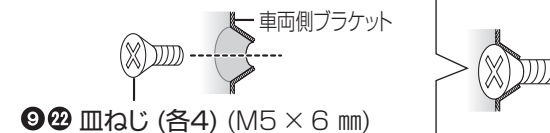
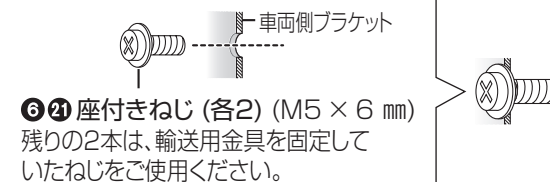
取付例 2DIN サイズ採用車

必ずインダッシュモニターを上側、ナビゲーション本体を下側に付けてください。

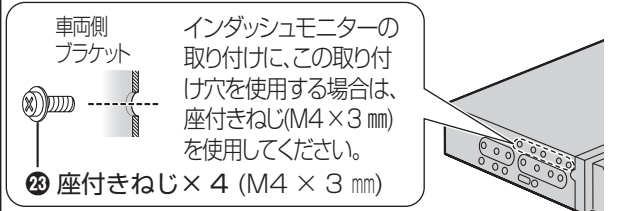
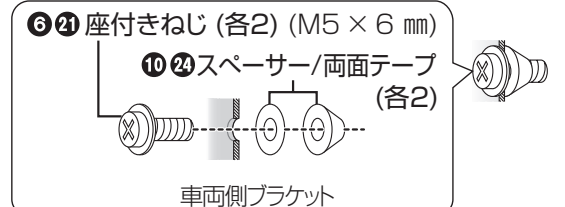
（インダッシュモニターを下側にすると、モニターが立ち上がったときにナビゲーション本体の前面をふさいでしまいます。）



付属のねじは、取り付け金具（ブラケット）の穴形状に合わせて選んでください。



ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



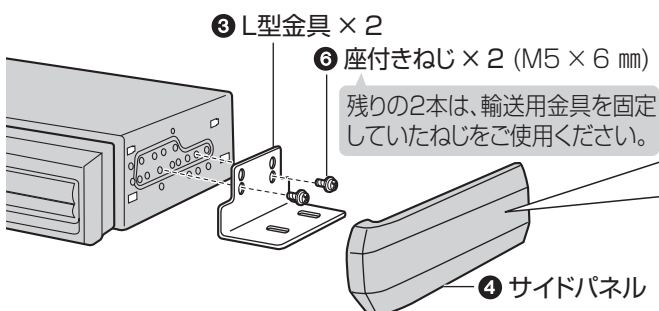
ナビゲーション本体をトランクや床に取り付ける場合は

トランクや床に取り付ける場合、付属のケーブルではインダッシュモニターとナビゲーション本体を接続できません。別売のケーブル [CA-LHD600D(6 m)/CA-LHD400D(4 m)] を使用してください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。映像を適切に表示するために「延長ケーブル使用」の設定を行ってください。(※取扱説明書「ナビ編」)

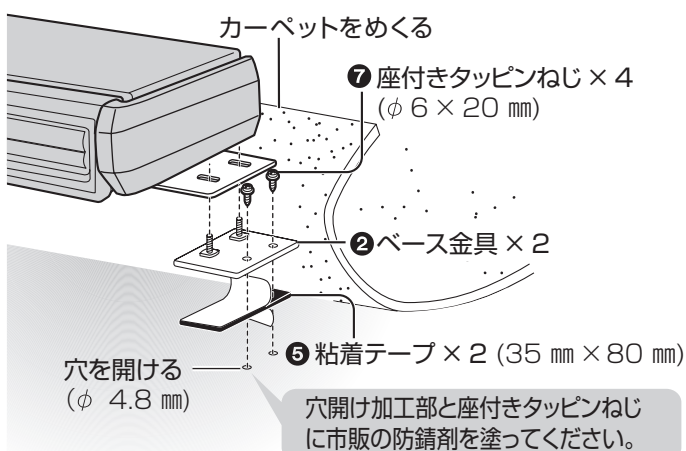
取り付ける前に ● 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

1 L型金具をしっかりと取り付ける。

※ 反対側も同様に取り付けてください。

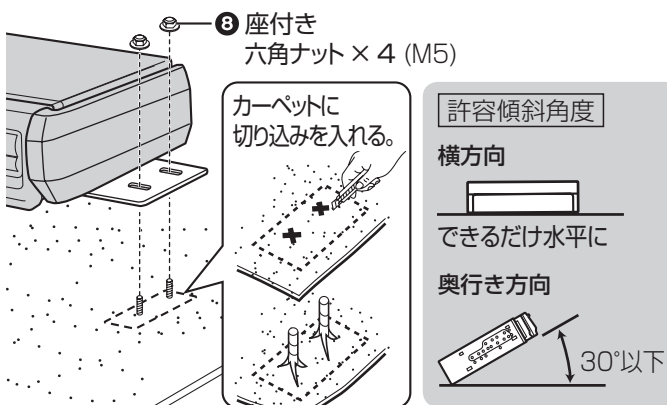


2 ベース金具を床上にしっかりと取り付ける。

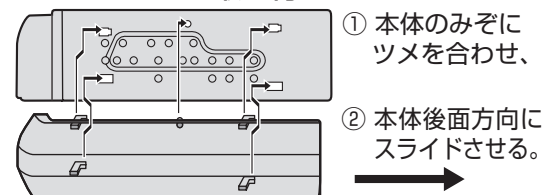


3 ナビゲーション本体をベース金具にしっかりと取り付ける。

傾きが許容傾斜角度（下記参照）になるように調整、固定する。
※取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

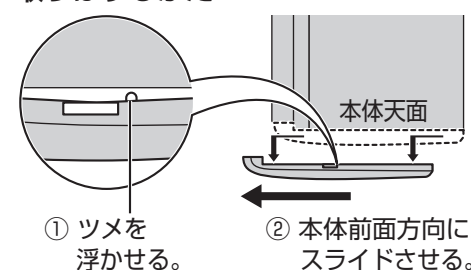


サイドパネルの取り付けかた



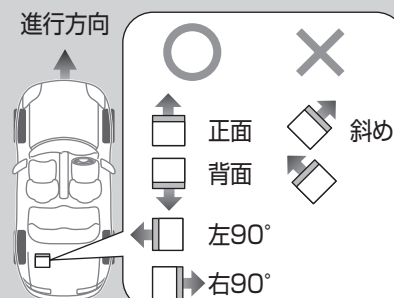
● センターコンソール以外の場所に取り付けるときは、ゴミ、ほこりなどが入らないように、必ずサイドパネルを取り付けてください。

取りはずしかた



お願い

- 以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。
 - ・水のかかるところ
 - ・足で踏まれるところ
 - ・ほこりの多いところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
 - ・カーペットの下など熱がこもるところ
- 連続して使用すると、ナビゲーション本体が温かくなりますので、まわりに物などを置かないでください。
- トランク、車室内の床やセンターコンソール内など、しっかりした場所に付属の金具を使用して、しっかりと車両に固定してください。誤動作、故障の原因になります。
- なるべく水平になるように取り付け、進行方向に対し、直角または平行の向きで取り付けてください。(※下図)



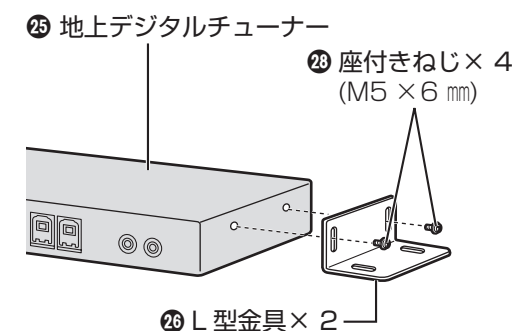
地上デジタルチューナーの取り付けかた

専用の金具で取り付ける（推奨）

取り付ける前に

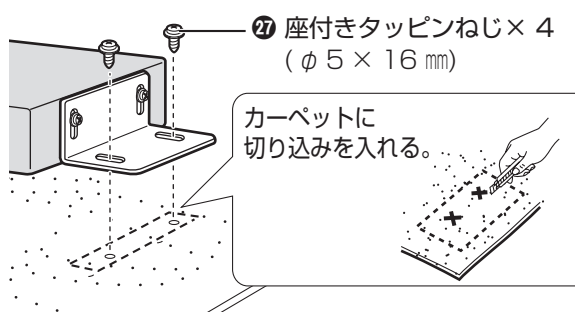
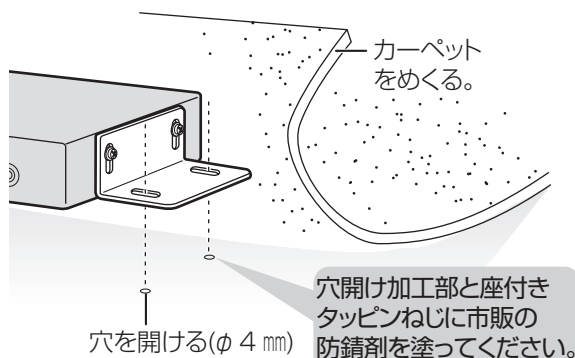
- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

1 L型金具を取り付ける。



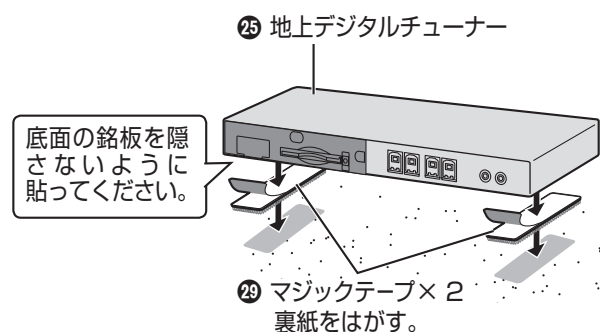
2 助手席の下などの平らな床上に取り付ける。

- ① 地上デジタルチューナーを床上に置き、設置する位置を決める。
- ② L型金具の穴に合わせて、車体にφ4 mm内の穴を開ける（4カ所）。
- ③ 座付きタッピンねじで、しっかり固定する。



マジックテープで取り付ける場合は

カーペットなどに取り付ける。



販売店様へのお願い

B-CAS カードは、地上デジタルテレビ放送を受信するために必要です。パッケージを開封すると、「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意されたとみなされますので、開封せず、そのままお客様へお渡しください。

お願い

- お使いになる前に B-CAS カードを挿入してください。
- 以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。
 - ・水のかかるところ
 - ・足で踏まれるところ
 - ・ほこりの多いところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
 - ・カーペットの下など熱がこもるところ
 - ・B-CAS カードの出し入れの妨げになる場所
- 本体底面を下にして、水平に対し 30° 以下の角度で取り付けてください。故障の原因になります。



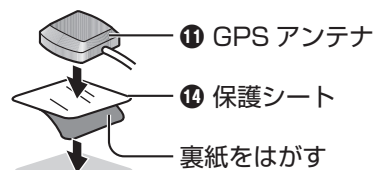
GPS アンテナの取り付けかた

車外に取り付ける（推奨）

取り付ける前に

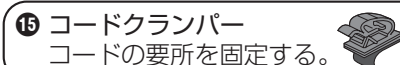
- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm 以上離して取り付けてください。

ルーフの平らな面に取り付ける。



※ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。

トランクに雨水が入らないように、コードを引き回す。トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。



GPS アンテナのコード



12 防水ゴム（裏面）



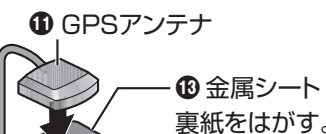
トランクのゴムパッキンより低い位置に貼る。

お願い

- GPS アンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ず GPS アンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける場合は

中央部のガラス付近に水平に取り付ける。



20 cm以上

お知らせ

- 車内に GPS アンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(☎ 取扱説明書「ナビ編」)にご相談ください。

お願い

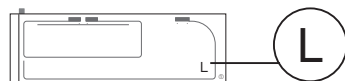
- 金属シートは、
 - ・必ず、付属の金属シートを使用してください。
 - ・折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から 30 cm 以上離してください。
- GPS アンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり、使えなくなる場合があります。

フィルムアンテナの貼り付けかた

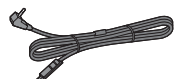
TV・FM 多重・地上デジタルアンテナ

左

37 TV・FM 多重・地上デジタルアンテナ



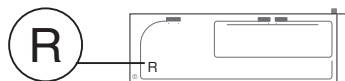
38 TV・FM 多重アンテナコード (7 m)



39 地上デジタルアンテナコード (7 m)



37 TV・FM 多重・地上デジタルアンテナ



38 TV・FM 多重アンテナコード (7 m)



39 地上デジタルアンテナコード (7 m)



右

車内からフロントガラスに向かって左(L)/右(R)を表します。

配線時は、カバーを取りはずします。(左側も同様に)

地上デジタルチューナーへ

リヤ用地上デジタルアンテナ

左

43 リヤ用地上デジタルアンテナコード (7 m)



L 字型

右

43 リヤ用地上デジタルアンテナコード (7 m)



逆 L 字型

車内からリヤガラスに向かって左/右を表します。

- エレメントは、左右の違いはありません。
- リヤガラス、サイドガラスに取り付けられない場合は、別売の車外用のアンテナ (TY-CA220DT) を使用してください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

貼り付ける前に

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- コードの左右を必ずご確認ください。
- 仮止めして、アンテナを貼り付ける位置(左右)をご確認ください。(貼りなおせません)
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm 以上離して貼り付けてください。
- 特にリヤガラスにラジオなどのガラスアンテナが装着されている場合は、ラジオなどの感度に影響を及ぼす場合があります。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ガラス面が完全に乾いていない状態でアンテナを貼り付けると、接着不良などによるはがれの原因になります。ガラスが十分に乾いた状態で作業を行ってください。
 - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

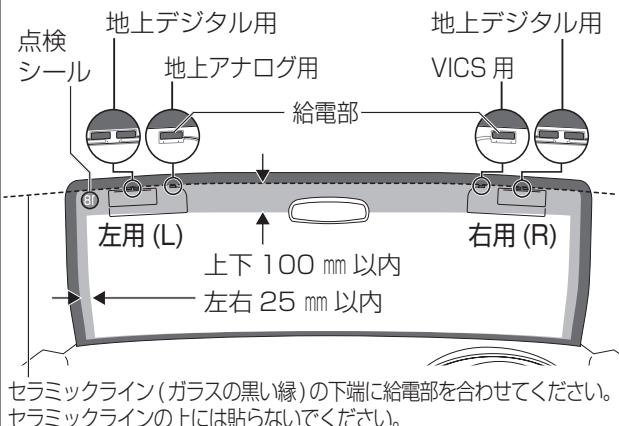
付属のクリーナーで、設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。

取付範囲について

TV・FM 多重・地上デジタルアンテナ

国土交通省の定める保安基準[※]に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。
※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に対する、平成 11 年 12 月 27 日付の運輸省(当時)告示第 820 号をいいます。

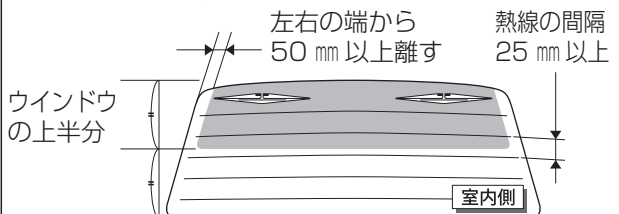
■取付許容範囲



リヤ用地上デジタルアンテナ

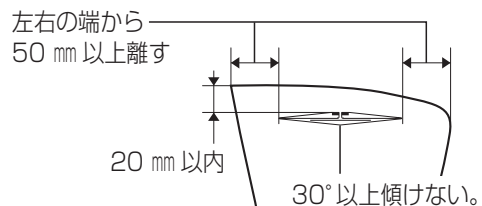
■リヤガラスに取り付ける場合 (推奨)

- の範囲内に取り付けてください。
- の範囲内に取り付けられないときは、サイドガラスに取り付けてください。



■サイドガラスに取り付ける場合

下図の範囲内に取り付けてください。



お願い

- 車両のドアや可動式のウィンドウには取り付けないでください。
- 熱線やプリントアンテナと重ならない様に貼り付けてください。ショート、発熱、性能劣化の原因になります。

貼り付けかた

右用のアンテナの貼り付けかたを例に説明しています。左側のアンテナも、右側と同様に貼り付けてください。

1 仮止めて貼り付け位置を決める。

2 セパレータをはがす。

- フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。
- フィルム・エレメントの糊面に触れないでください。

エレメントがセパレータ側に残る場合

- 1 セパレータをもとどおりに貼り付け、裏返したアンテナをもとの向きに戻す。
- 2 フィルムの上から、指先でエレメントをこする。
 - 先のとがったものでこすらないでください。
 - 同じ部分を何度も強くこすらないでください。
- 3 再度セパレータをはがす。

3 エレメントをしっかりガラス面に密着させる。

- 矢印の方向に、エレメントに沿って指などで均等に押付け、たわみや気泡が残らないようにガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、エレメントがガラスに密着していることを確認してください。

4 フィルムをはがす。

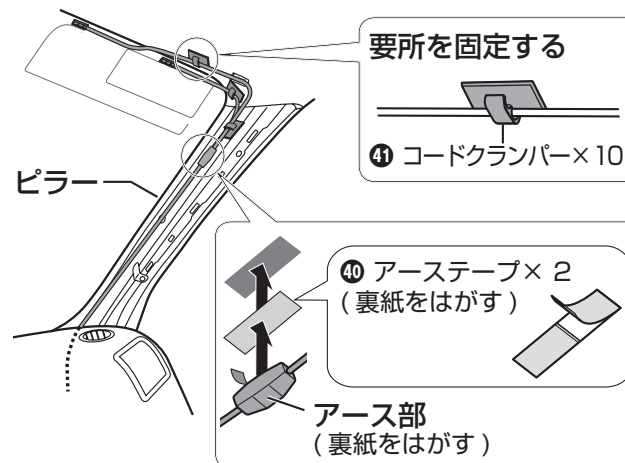
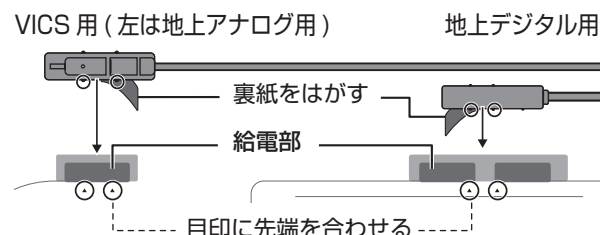
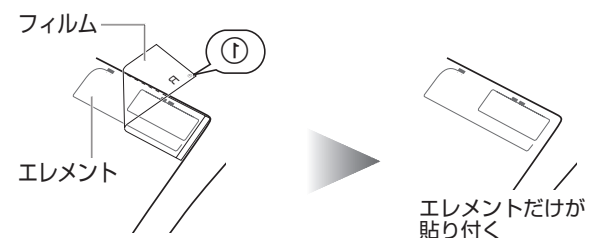
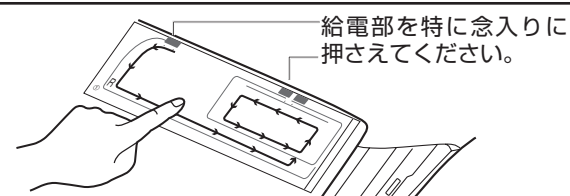
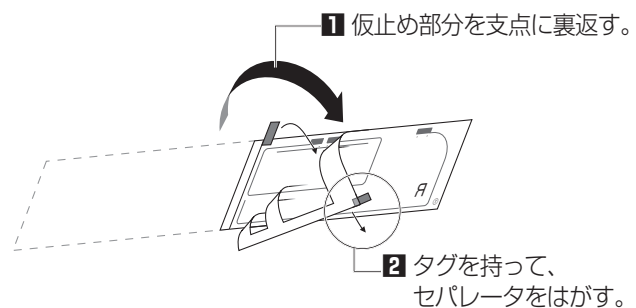
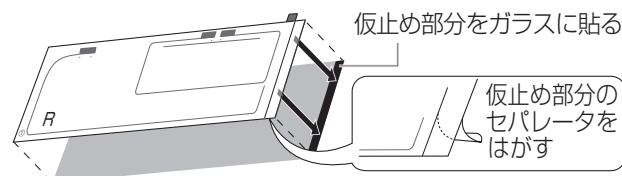
- フィルムの端を持って、角から斜めにゆっくりとはがしてください。
- エレメントがフィルム側に残る場合は、いったんフィルムをもとに戻した後、手順 3 からやり直してください。
- ガラス面にセパレータが残っている場合は、はがしてください。

5 アンテナコードの端子を給電部に貼る。

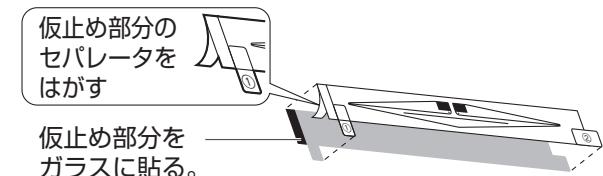
6 配線する。

- 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FM ラジオの音声に雑音が入る原因になります。

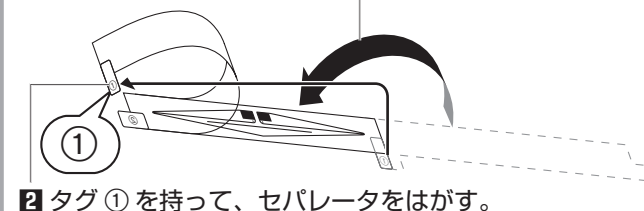
TV・FM 多重・地上デジタルアンテナ



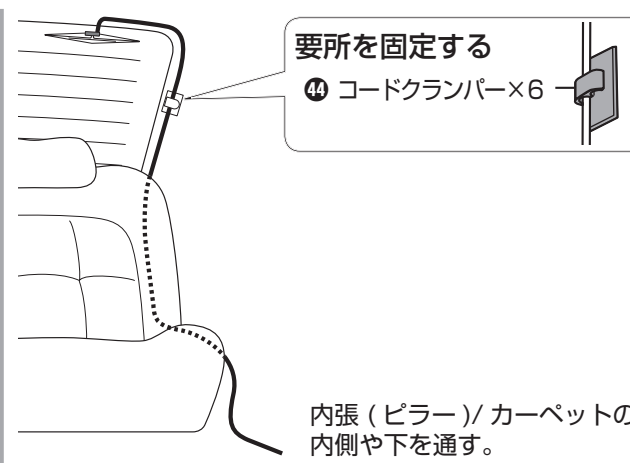
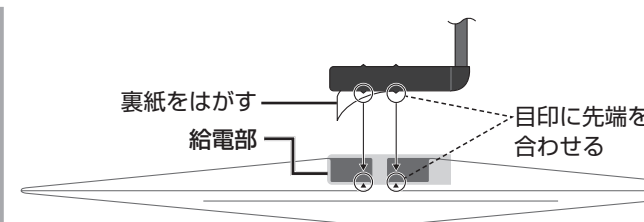
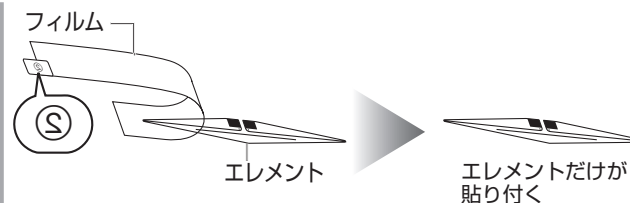
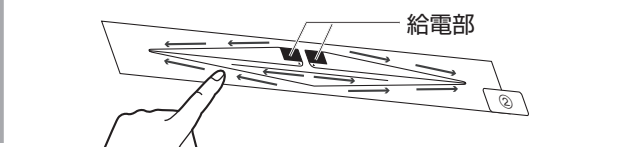
リヤ用地上デジタルアンテナ



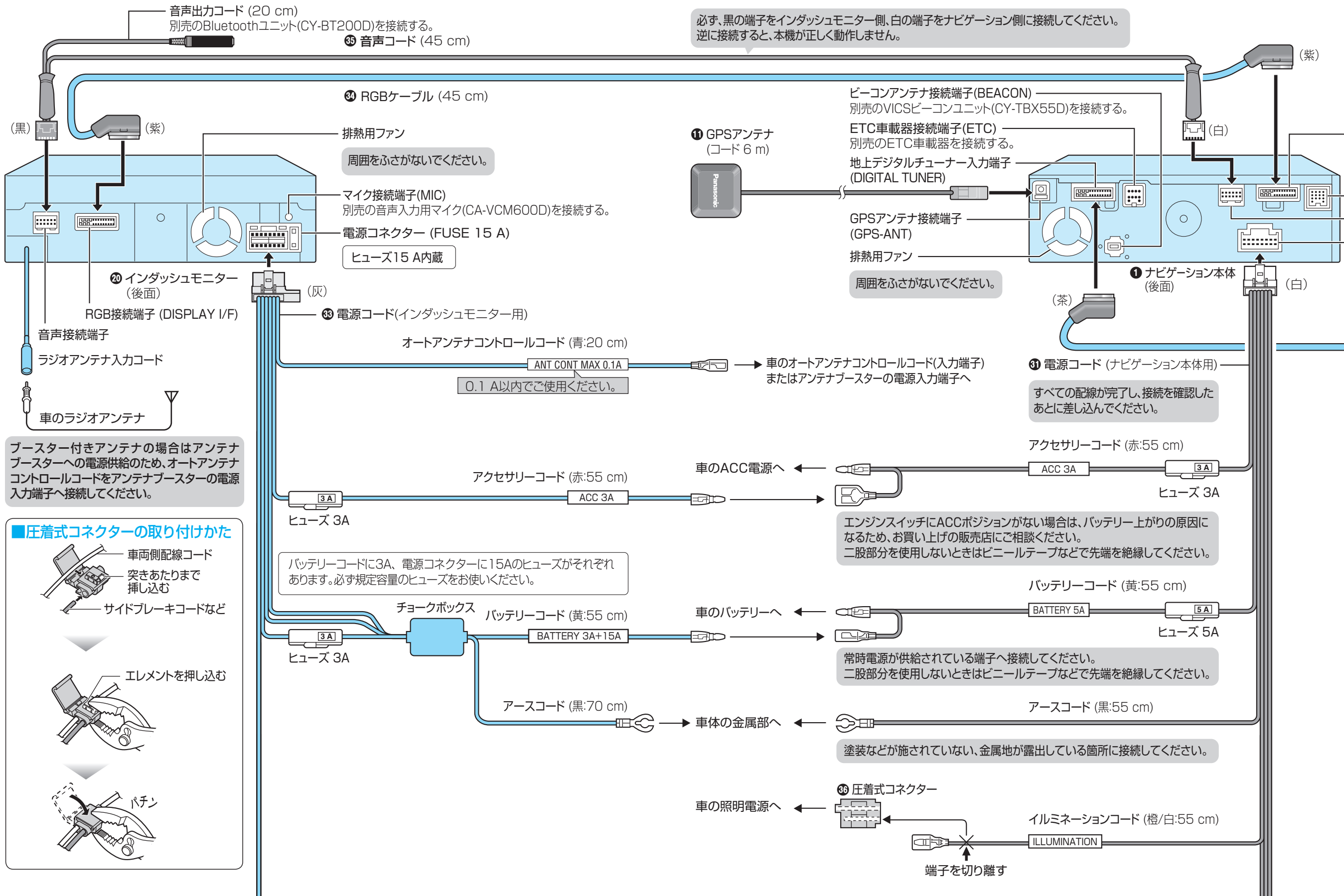
1 仮止めシールを支点に裏返す。



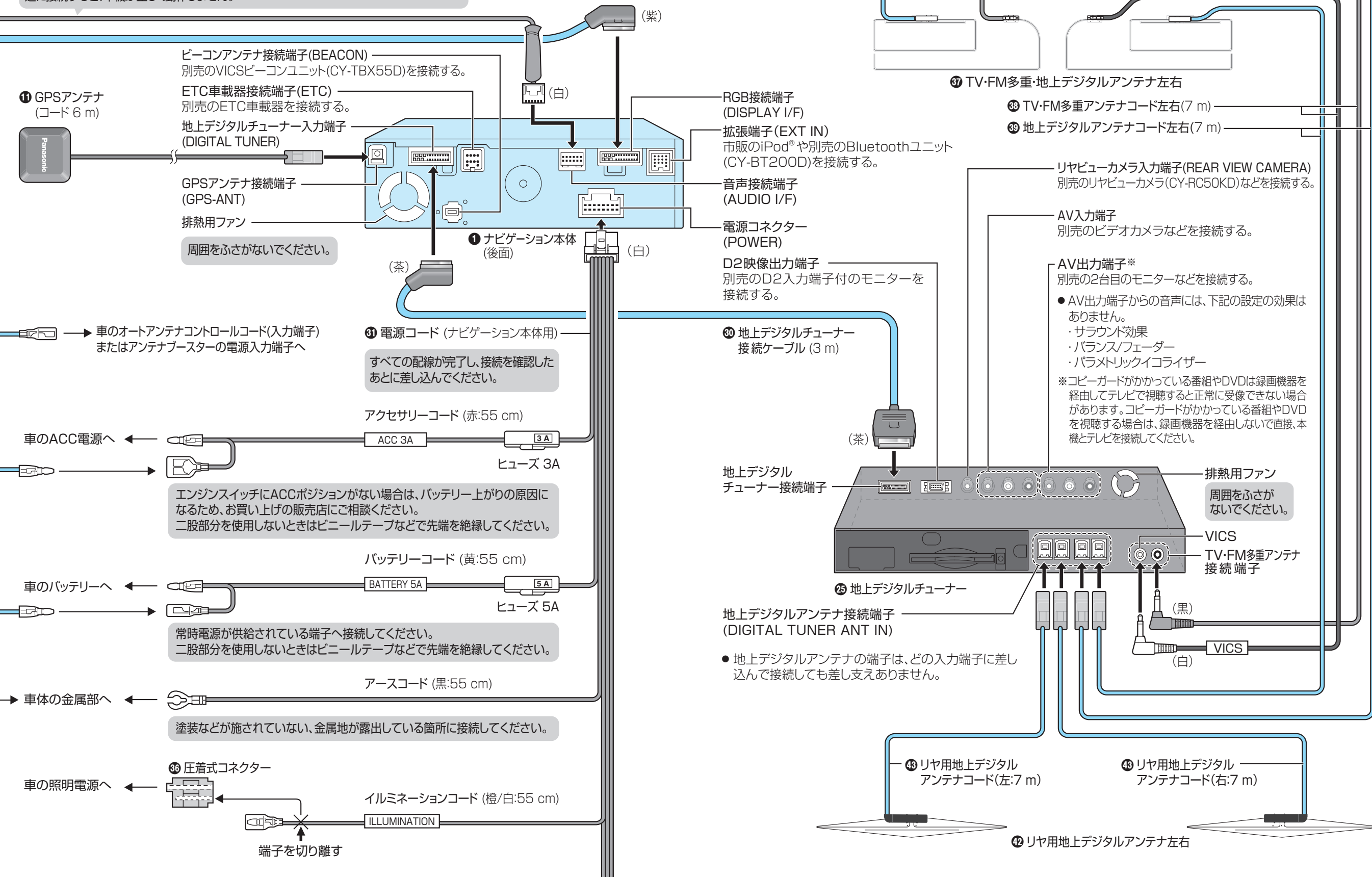
給電部を特に念入りに押さえてください。



配線のしかた



必ず、黒の端子をインダッシュモニター側、白の端子をナビゲーション側に接続してください。
逆に接続すると、本機が正しく動作しません。

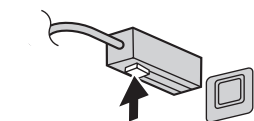


■ロック付きコードの取りはずしかた

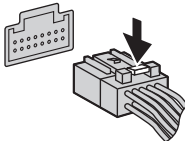
矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。

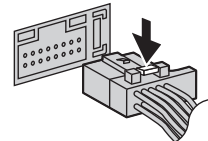
① GPSアンテナのコード



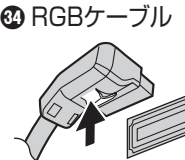
③ 電源コード (ナビゲーション本体用)



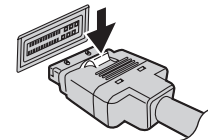
③ 電源コード (インダッシュモニター用)



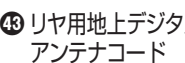
③ 地上デジタルチューナー接続ケーブル (ナビゲーション本体側)



③ 地上デジタルチューナー接続ケーブル (地上デジタルチューナー側)



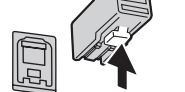
③ 地上デジタルアンテナコード



③ 音声コード



③ リヤ用地上デジタルアンテナコード



お願い

- コネクタは確実に差し込んでください。
- コードは高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで固定してください。
- ETC 車載器接続端子に、モバイルコミュニケーションユニットやマルチメディアハブなどは接続しないでください。接続しても動作しません。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
- 圧着式コネクタは、指定の箇所以外に使用しないでください。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。

- ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。
- 地上デジタルチューナーをシート下などに取り付ける場合は、シートの移動・調整をしてもコードやコネクタに負荷が加わらないように配線してください。誤作動・故障の原因になります。

外部アンプコントロールコード
(青/白:20 cm)

AMP CONT MAX 0.1A
0.1 A以内でご利用ください。

スピーカーコード (センター)

CENTER
(黒:20 cm)
(黒/緑:20 cm)

スピーカーコード (フロント 左)

FRONT L
(白:20 cm)
(白/黒:20 cm)

スピーカーコード (フロント 右)

FRONT R
(灰:20 cm)
(灰/黒:20 cm)

スピーカーコード (リヤ 左)

REAR L
(緑:20 cm)
(緑/黒:20 cm)

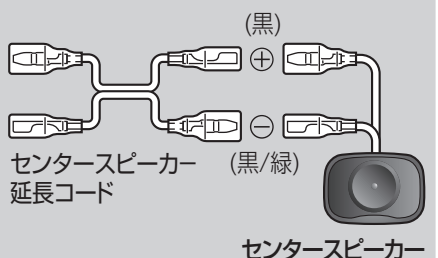
スピーカーコード (リヤ 右)

REAR R
(紫:20 cm)
(紫/黒:20 cm)

別売

パワード・サブウーファー/
センタースピーカーキット
(CJ-PS1200KD)

サブウーファー

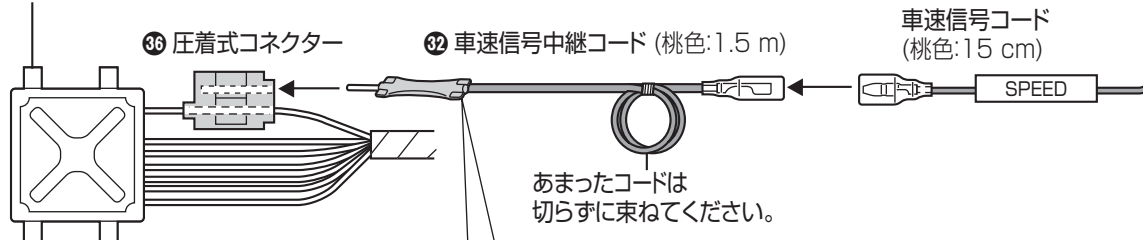


- 最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのスピーカーを使用してください。
- 使用しないスピーカーのコードは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
- 接続したスピーカーに合わせて「スピーカー設定」をしてください。(※取扱説明書「ナビ編」)

車速信号コードを接続する

車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン型式によって異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。必ず、付属の車速信号中継コードを使用してください。

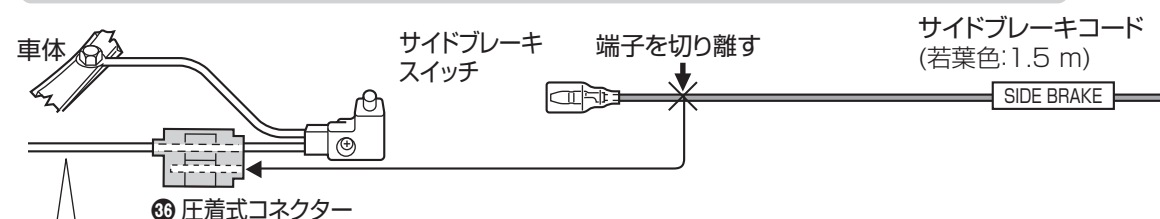
エンジンコントロールコンピューターユニット (ECU)



この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のまま車速信号取り出し箇所の方に接続してください。

サイドブレーキコードを接続する

サイドブレーキコードは必ず接続してください。正しく接続し、サイドブレーキを引いていない場合には、操作が制限されます。

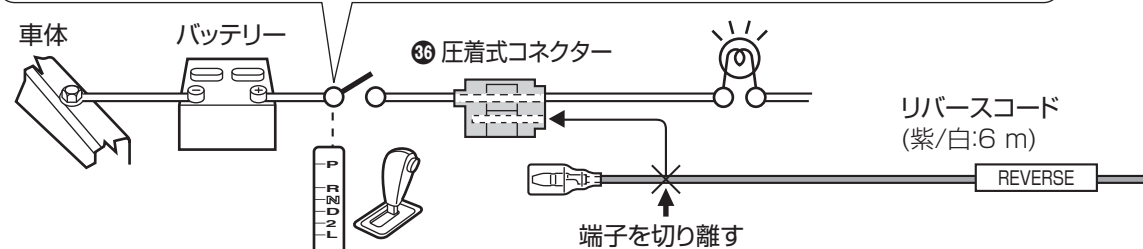


サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。

リバースコードを接続する

リバースコードは必ず接続してください。自車位置が正しく表示されない場合があります。

車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線に接続してください。



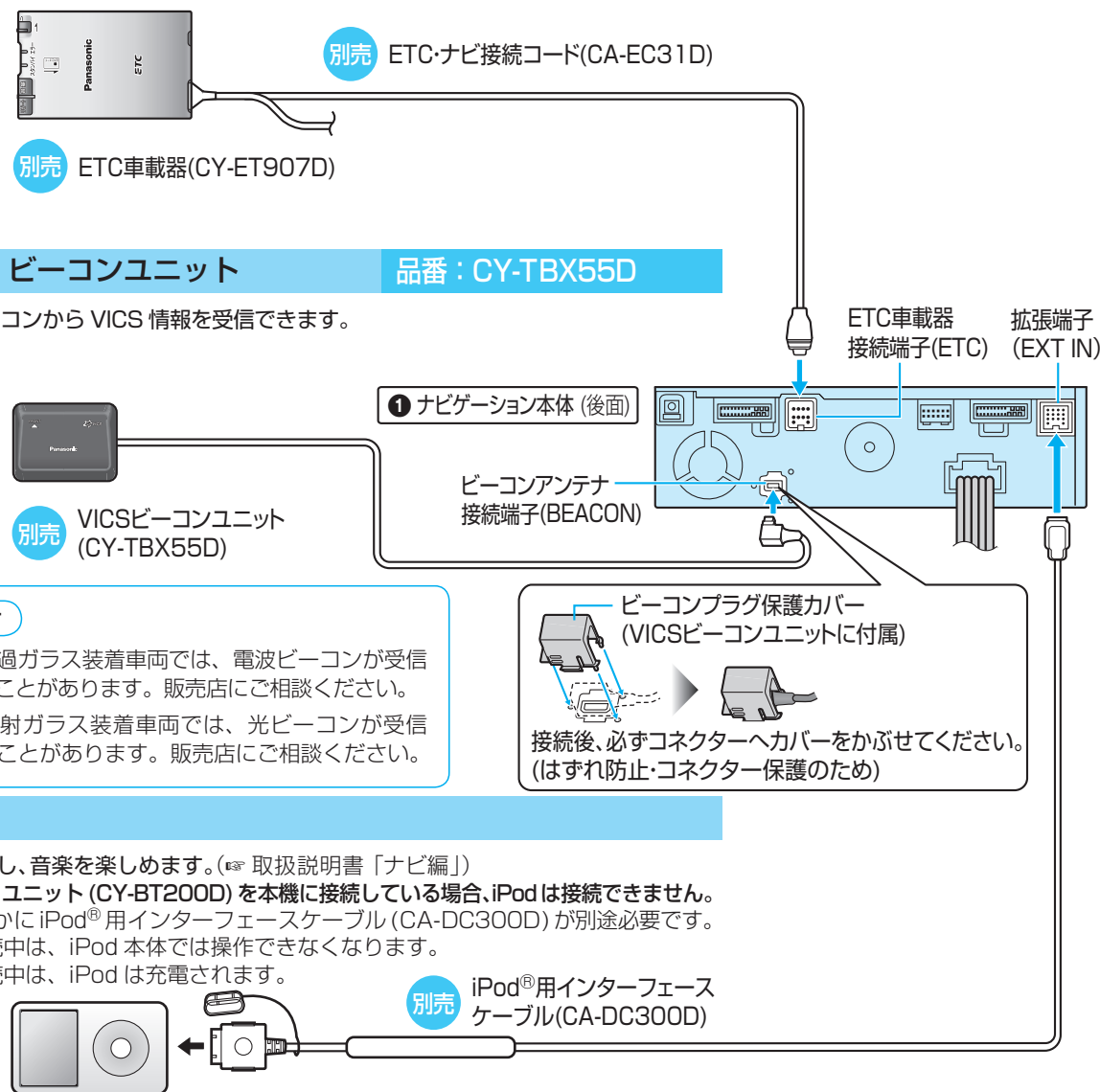
- 推奨品以外の機器と接続する場合は、ご利用できない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

別売 ETC 車載器

品番：CY-ET907D（例）

料金所で ETC 拡大図を表示したり、料金履歴を確認できます。

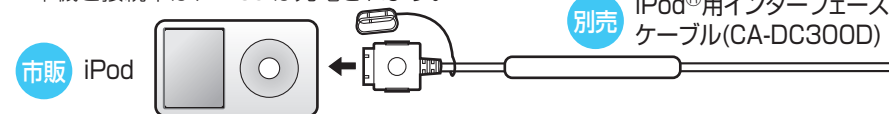
- 別売の ETC 車載器 (CY-ET907D/KD/CY-ET807D) のほかに、ETC 車載器接続コード (CA-EC31D) が別途必要です。



市販 iPod

iPod を接続し、音楽を楽しめます。(👉 取扱説明書「ナビ編」)

- Bluetooth ユニット (CY-BT200D) を本機に接続している場合、iPod は接続できません。
- iPod のほかに iPod® 用インターフェースケーブル (CA-DC300D) が別途必要です。
- 本機と接続中は、iPod 本体では操作できなくなります。
- 本機と接続中は、iPod は充電されます。



お願い

- オーディオが iPod のときに、iPod の取り付け、取りはずしをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因になる場合があります。
- 運転中に iPod が動かないようにホルダーなどでしっかりと固定してください。
- iPod を車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- ACC を OFF にしたあとは、必ず iPod を iPod[®] 用インターフェースケーブルから外してください。iPod の電源が切れず、iPod の電池を消耗することがあります。
- 接続する iPod の説明書も、併せてご覧ください。

お知らせ

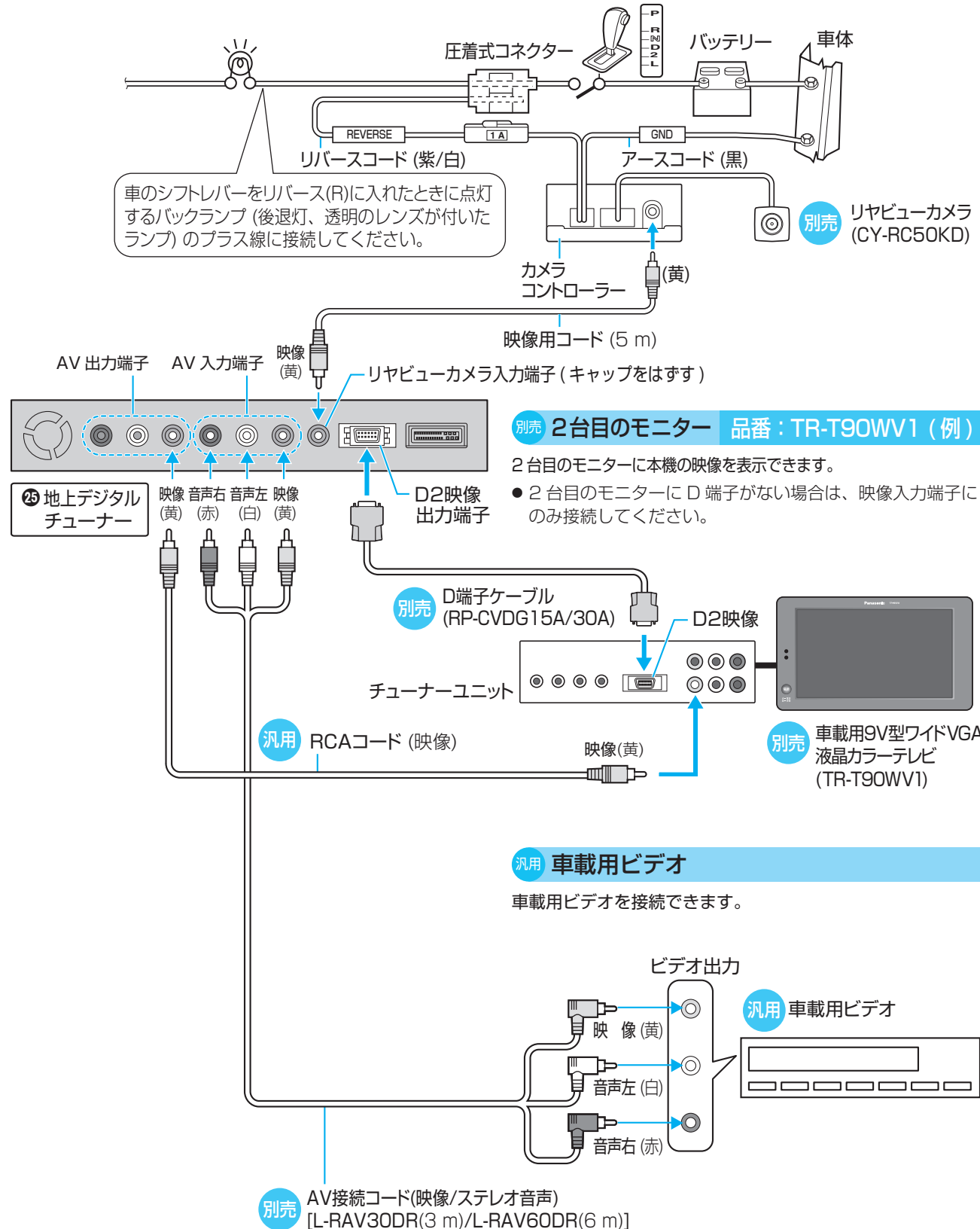
- 本機と接続するときは、iPod のリモコンやヘッドフォンなど、iPod のアクセサリを接続しないでください。正しく動作しない場合があります。

別売 リビューカメラ

品番：CY-RC50KD（例）

リヤビューカメラを接続できます。

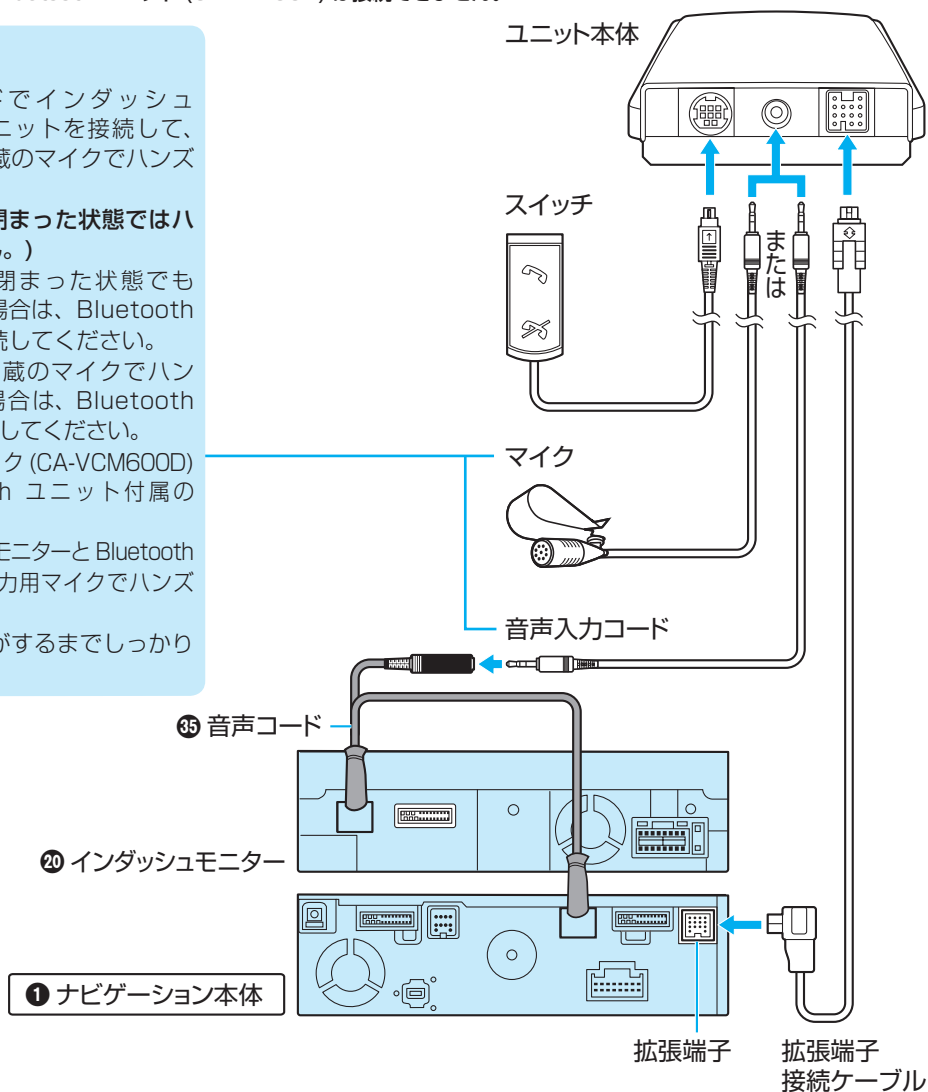
- 取り付け後、必ずカメラ割込み設定を「する」にしてください。(☞ 取扱説明書「ナビ編」)



- iPod を本機に接続している場合、Bluetooth ユニット (CY-BT200D) は接続できません。

お願い

- 通常は、音声入力コードでインダッシュモニターと Bluetooth ユニットの接続して、インダッシュモニターに内蔵のマイクでハンズフリー通話をしてください。
(インダッシュモニターが閉まった状態ではハンズフリー通話はできません。)
- インダッシュモニターが閉まった状態でもハンズフリー通話をしたい場合は、Bluetooth ユニット付属のマイクを接続してください。
- インダッシュモニターに内蔵のマイクでハンズフリー通話をしにくい場合は、Bluetooth ユニット付属のマイクを接続してください。
- すでに別売の音声入力用マイク (CA-VCM600D) をご使用の場合、Bluetooth ユニット付属のマイクは必要ありません。
音声入力コードでインダッシュモニターと Bluetooth ユニットの接続して、音声入力用マイクでハンズフリー通話をしてください。
- 各接続端子は、カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。



内蔵のマイクでうまく音声認識されない場合、お使いください。

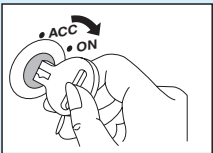


取り付け・配線の確認

下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

① 電源を入れる

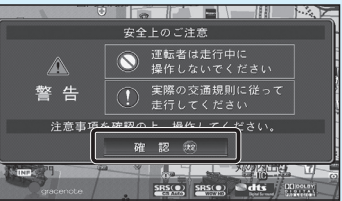
- 1 車のエンジンをかける。
または ACC に入れる。
- ナビゲーションの電源が入ります。



- 2 OPEN を押して、モニターを立ち上げる。



- 3 注意事項を確認して、確認 にタッチする。



- 現在地画面（自車位置）が表示されます。
- 現在地画面が表示されるまで、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。

- 4 見通しの良い場所で、GPS 信号（GPS）を受信していることを確認する。



- GPS マークが表示されないときや点滅が継続するときは、受信状態を確認してください。（取扱説明書「ナビ編」）

② 取付角度設定・車両信号情報・拡張ユニット情報の確認をする

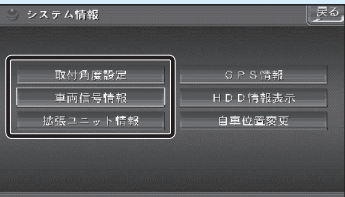
- 1 MENU を押す。
- ツートップメニューが表示されます。
- 2 情報 / 設定 にタッチする。



- 3 情報 → システム情報 にタッチする。



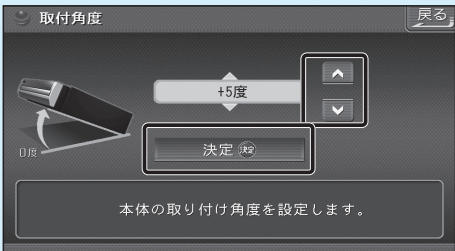
- 4 設定する項目を選ぶ。



→ 取付角度設定 / 車両信号情報 / 拡張ユニット情報それぞれの手順 5 へ（右記）

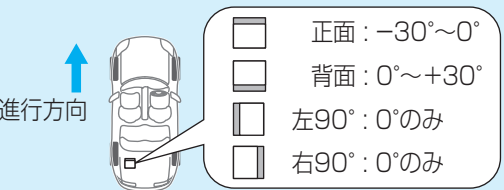
取付角度設定

- 5 取り付け角度を設定し、決定 にタッチする。



- 調整範囲：（5° ステップ）
- 30° ~ + 30°
- お買い上げ時の設定：未設定

ナビゲーション本体を取り付けた向きに応じて、下記の範囲で設定してください。

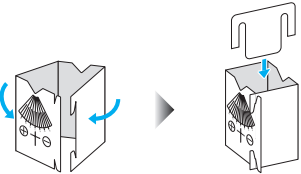


お願い

- SALAS（取扱説明書「ナビ編」）による、立体駐車場などでの自車位置測位の精度を向上させるため、必ず設定してください。（お買い上げ時は、「未設定」となっています。）

■ 取付角度を測る

- ① 取付ゲージを組み立てる。



お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。

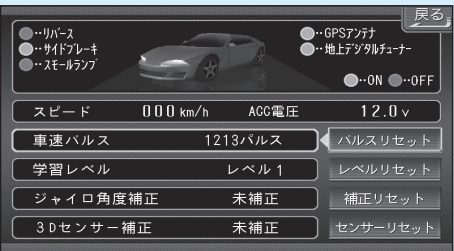
- ② 車体が水平になる場所で、ナビゲーション本体に取付ゲージを下図のようにあて、本体の取付角度を測る。

- ナビゲーション本体の向きに関わらず、
⊕ マークを車の進行方向に向けて測ってください。
- 床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーション本体の上に置いて、角度を測ってください。



車両信号情報

- 5 車両信号を確認する。



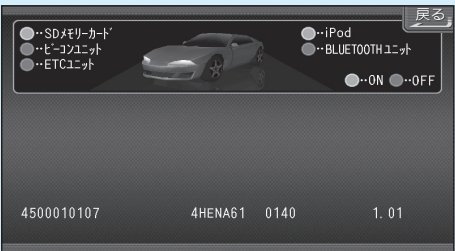
- ① 「リバース」「サイドブレーキ」「スモールランプ」「GPS アンテナ」「地上デジタルチューナー」「スピード」「ACC 電圧」を確認する。
- ② パルスリセット にタッチして、「車速パルス」をリセットする。
同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」もリセットする。
- ③ 現在地画面を表示させ、平均時速 20 km 以上で見通しの良い場所をしばらく（60 分程度）走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」を確認する。

リバース	シフトレバーを R（リバース）に入れると、ON 表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON 表示に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプが点灯すると、ON 表示に変わりますか？
GPS アンテナ	ON 表示になっていますか？
地上デジタルチューナー	ON 表示になっていますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC 電圧	約 12 V（11 ~ 16 V）になっていますか？
車速パルス*	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル 1」になります。走行後、数字が変化していますか？（レベル 3 が最大）
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？
3D センサー補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

※車から出力される車速パルスに一定の係数（車速補正係数）をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。（全自動距離補正システム）

拡張ユニット情報

- 5 拡張ユニットの取り付けを確認する。



SD メモリーカード	別売の SD メモリーカードを挿入すると、ON 表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売の VICS ビーコンユニット（CY-TBX55D）を接続している場合、ON 表示になっていますか？
ETC ユニット	別売の ETC 車載器（CY-ET907D/KD、CY-ET807D など）を接続している場合、ON 表示になっていますか？
iPod	市販の iPod を接続している場合、ON 表示になっていますか？
BLUETOOTH ユニット	別売の Bluetooth ユニット（CY-BT200D）を接続している場合、ON 表示になっていますか？

お知らせ

- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」をリセットしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、また GPS 信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。
不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。
再度取り付け・配線を確認してください。